令和６年度　南城市幼小連携事業　**知念小学校　公開授業及び合同研修会**

実施場所	南城市立知念小学校・南城市役所大会議室
実施日時	令和６年５月１７日(金)
事業の名称	①　「公開授業」10:35～11:20　生活科 ②　合同研修会　15:30～16:45
参加者	①　保育施設 18 名　　②小学校 16 名 ②　行政：教育指導課５名　健康福祉部局：５名　　合計４４名

子どもの姿（○）環境構成（◎）　教師の援助（☆）

参観の視点①　一年生が楽しく過ごしている場面

◎休み時間好きな遊びを楽しんでいる。（すごろく・ウサギの観察・外で遊ぶ・折り紙・輪投げ等）２クラスが混ざっているところが良かった。

○学校探検でそれぞれが各教室の気になるものを興味深く見たり、自分の教室にないものを探したりしている姿。

☆興味を示して、みんな楽しそうに参加していた。特に、１組のミッションの場面では、身を乗り出してやっていた。

○仲間づくりができるので、すぐ一緒に遊ぼうなどと声掛けをして遊んでいる様子だったので良かった。また、年齢関係なく遊んでいる姿もとても良かった。

参観の視点②　環境や援助で良かったところ

◎廊下にカリキュラムの進行状況が分かる写真やコメントがあり、子ども達が見通しを求める工夫があった。

☆子ども達に問いかけながら、考えさせるやり取りや映像視聴で分かりやすく伝えていたところ。

☆２階にはなにがあったかな?と子ども達に問いかけているところが良かった。（子ども達がまた確認しに行きたい、もう一度見に行きたい、とわくわくするような質問交えの声掛けに探究心が育つ。）

☆常に子ども達に問いかけていた。→子どもの発信を丁寧に拾っていると感じた。

視点③　幼児教育施設で楽しく遊んでいる姿が、小学校の生活へどのようにつながっているか。

○信頼できる先生とのアタッチメントの形成が０歳児からしっかり行われていているから、お話をしっかり聞けるようになっているのだと思う。

○自分が思ったことなど、自由に言える雰囲気を感じた。分からないことも「先生、分からない」と言えていた。

○遊びにしてもグループでお互いの想いを伝える事ができていた。

◇合同研修会

幼：ワクワクさせる環境、失敗しても大丈夫な環境、気づき考えさせる環境、伝えたい気持ちを育む環境、子ども達と一緒に楽しみながら、子ども達が主体的に取り組みたくなる環境作りに努めたい。

小：幼児教育施設からの遊びを小学校でも取り入れながら、子ども達のやりたいを引き出して、楽しめる学級にしたいと思いました。ワクワクする授業を目指したいです。

小：子どもに委ねるのは勇気がいるけど、必要なことだと感じた。主体性を大事にした授業作り努めたい.